

大阪地域の HIV 検査機関における MSM の受検動向

研究協力者：岳中美江（特定非営利活動法人 CHARM／財団法人エイズ予防財団）
市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

検査機関と共同で実施している調査を継続し、2008 年の質問紙協力者のうち、同性間の性的接触を感染不安要因として受検した男性 337 人について検討した。MSM 受検者の基本属性、情報源、受検までの期間、受検や相談経験、受検動機、感染リスク認識、性行動などについて集計した結果を報告する。

A. 研究目的

MSM への予防介入による効果を受検行動の側面から評価するため、検査機関（大阪・土曜日常設 HIV 検査事業）と共同で調査を実施した。大阪・土曜日常設 HIV 検査は、特定非営利活動法人 CHARM が大阪府・大阪市から委託を受け、毎週土曜日午後到大阪市内で無料匿名 HIV/性感染症検査を実施しているものである。この検査機関を本研究の対象に選んだ理由は、MASH 大阪が活動している地域に位置していること、MASH 大阪がこの検査機関を広報・紹介していること、MASH 大阪が実施した臨時 HIV 抗体検査の終了後まもなく検査事業を開始（2002 年 10 月）したこと、検査相談の体制（質的内容）を充実する工夫が見られること、受検者に対して質問紙調査を実施していることなどである。MSM の一定の利用があるこの検査機関における受検者動向の把握により、MASH 大阪の啓発対象層の HIV/性感染症の感染状況や予防行動の一部が観察できると思われる。本稿では 2008 年の MSM 受検者動向を報告する。

B. 研究方法

無記名自記式質問紙を受検者全員に配布し、採血日行程終了時に任意に記入してもらった。

2008 年 1 月～12 月の受検者総数 2508 人のうち質問紙回答に協力が得られたのは 2263 人（有効回答率 90.2%）であった。質問紙協力者のうち、同性間の性的接触を感染不安要因として受検した男性を MSM として集計した。なお、実施場所が 2008 年 6 月に梅田から難波に移転したため、移転前後に分けて集計した。

C. 研究結果

質問紙調査の協力者 2263 人のうち、同性間の性的接触を感染不安要因として受検した男性（以下 MSM）は 337 人で、協力者中の MSM 割合は 15%であった。移転前後に分けて MSM 割合を見ると、1-5 月（移転前、梅田）は 18%、6-12 月（移転後、難波）は 13%であった（図 1）。

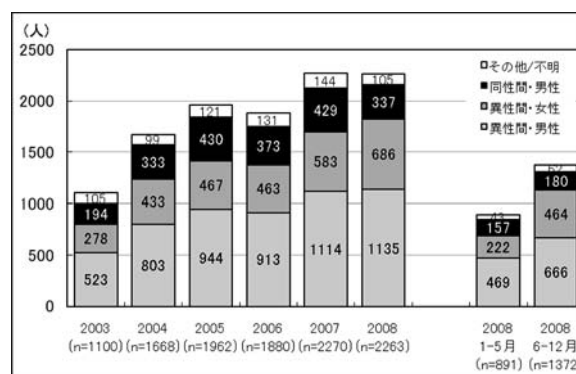


図 1 MSM 割合の年次推移

2008年受検者のうちHIV検査結果陽性と判定された21人の全員が結果を受け取った。そのうち19人がMSMで、質問紙調査の回答率から推定したMSM受検者中の陽性者割合は5.1%であった。なお、陽性結果を受け取った21人全員にHIV診療拠点病院を紹介しており、これまでに18件の受診回答書の返信があった。推定MSM受検者中のHIV陽性割合について移転前後に分けて見ると、梅田2.3%、難波7.5%であった(図2)。また、梅毒検査を受け、かつアンケート回答が得られたMSM317人のうち、TPHA陽性結果と判定されたのは12.0%であった。移転前後で見ると、梅田11.2%、難波12.0%であった。クラミジア抗体検査(7月まで実施)を受け、かつアンケート回答が得られたMSM207人のうち、IgG陽性結果と判定されたのは7.2%であった。移転前後で見ると、梅田5.8%、難波11.8%であった。B型肝炎ウイルス抗原検査(8月から実施)を受け、かつアンケート回答が得られたMSM128人のうち、HBs抗原陽性結果と判定されたのは0.8%であった(図3)。

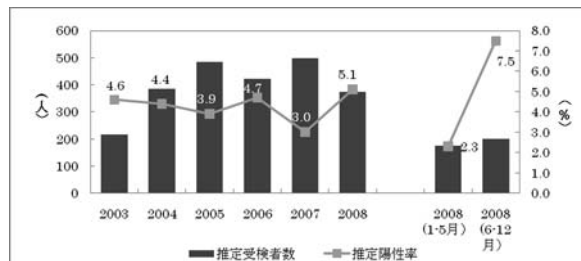


図2 推定MSM受検者数と推定陽性率

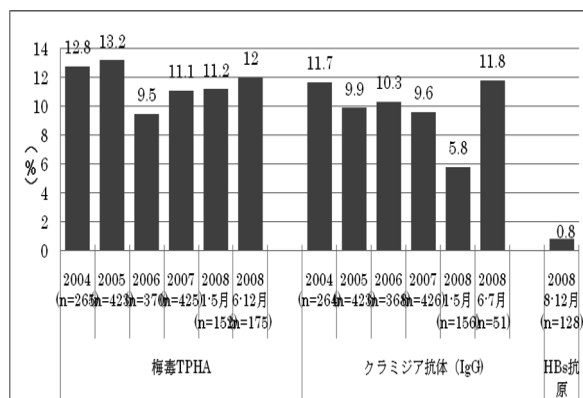


図3 梅毒・クラミジア・B肝陽性率

MSM受検者の年齢分布、居住地を表1に示した。平均年齢は33.8歳であった。年齢分布をみると、移転前後にかかわらず20歳後半が22%で最多、次いで30歳前半、30歳後半であり、2007年よりも20歳前半の割合が少なくなっていた。移転後は10歳後半が特に少なく、50歳代が増加(20%)した(図4)。居住地をみると、移転前は例年と変わらず近畿全域からの利用があるが、70%が大阪、次いで兵庫であった。移転後は例年よりも和歌山の割合が多くなっていた(図5)。

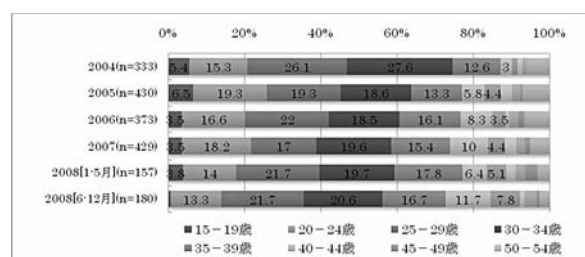


図4 年齢分布

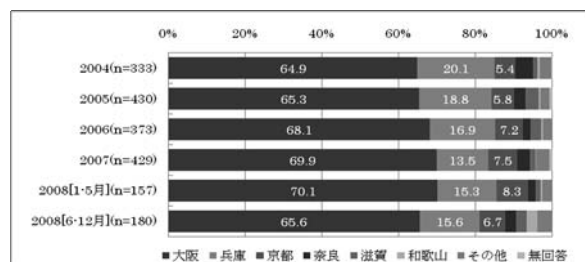


図5 居住地

この検査機関を知った情報源(複数回答)として(表2)、インターネット利用が52%と例年と同様に最も高い割合であった。インターネットに次いで友人・パートナー22%であり、2006年までと同様の傾向であった。2008年から選択肢として追加した「以前利用した」は、19%でポスター・パンフ・広報誌(12%)よりも多かった。移転前後で見ると、梅田は2007年よりインターネット利用の割合(45%)が少なく、友人・パートナー(26%)が多かった。難波は、インターネット利用が例年より多く(58%)、次いで以前利用した(23%)が、友人・パートナー(19%)よりも多い割合だった(図6)。

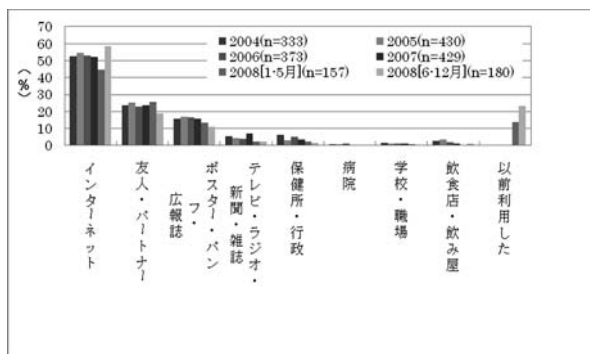


図6 土曜検査の情報源

感染を心配する行為から受検までの期間は(表2)、40%が2ヶ月未満、53%が1年未満であり、例年と同様に90%以上が1年未満に受検していた。移転前後でみると、梅田は49%が2ヶ月未満、47%が1年未満、難波は32%が2ヶ月未満、58%が1年未満であり、難波では心配なことからより時間がたってから受検している傾向がみられた。

受検動機については(表2)、「自分にも感染の可能性がある」が75%で最も高率で、次いで「定期的に受けている」「情報に触れ自分のことも心配」「新しいパートナーができた」がほぼ同率(約20%)であった。「定期的に受けている」および「新しいパートナーができた」は年々増加傾向にある。移転前後で見ると、梅田は「自分にも感染の可能性がある」に次いで「新しいパートナーができた」「情報に触れ自分のことも心配」が20%程度であり、難波は「自分にも感染の可能性がある」に次いで「定期的に受けている」が24%、「情報に触れ自分のことも心配」が20%であり、少し異なる傾向であった(図7)。

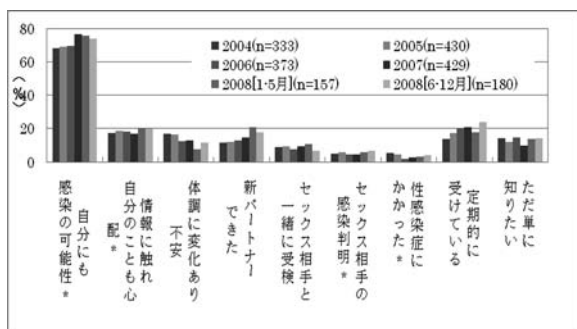


図7 受検動機

自身のHIV感染可能性について、37%が「可能性があると思う」、48%が「少し可能性があると思う」としており、例年と同じ傾向であった。

HIV検査受検経験率は(表2)、これまで(生涯)73%、および過去1年間46%であり、2007年と同様の割合であった。移転前後で見ると、梅田は生涯70%、過去1年42%、難波は生涯76%、過去1年50%であり、難波は梅田より受検経験率が高かった(図8)。

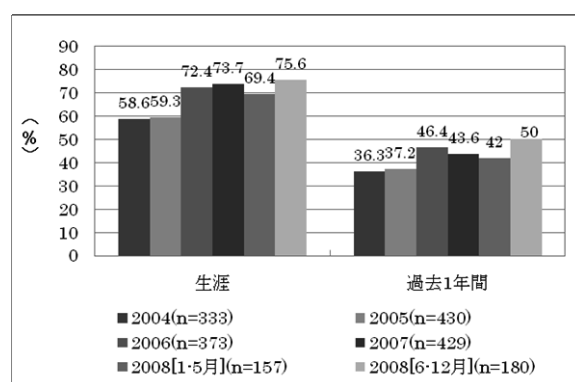


図8 受検経験

HIV関連の相談をした経験について(表2)71%は経験がなかったが、一方で23%は検査時に相談した経験があり、例年と同様の傾向であった。

性行動についてみると(表3)、MSM受検者の過去6ヶ月の性交経験率は91%で、その相手(複数回答)は、恋人など決まった相手59%、知人・友人とその場限り(2008年は「顔見知りと一回のみ」に変更)12%、バーやクラブで知り合った相手20%、ネット出会い系で知り合った相手27%、携帯出会い系で知り合った相手18%であった。2007年よりも、決まった相手やネット上(携帯含む)で知り合った相手が多い割合で、顔見知りと一回のみは少ない割合であった(図9)。過去6ヶ月間のセックスにおけるコンドーム常用率(毎回使った)は、オーラルセックスでは10%(2007年6%)、アナルセックスでは49%(2007年

45%)であった(図10)。

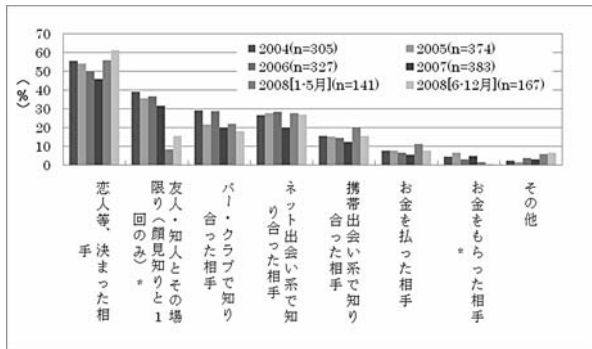


図9 過去6カ月間のセックス相手

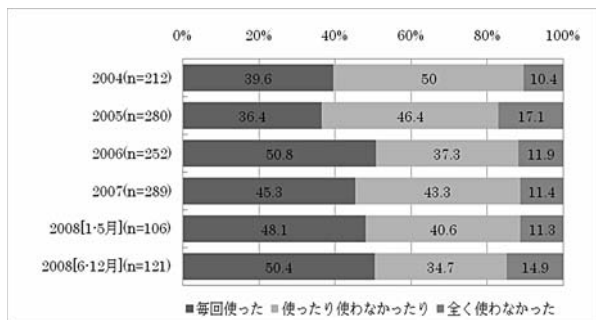


図10 過去6カ月間のアナルセックスでのコンドーム使用

生涯受検経験別(受検経験者と初回受検者)に過去6ヶ月間のアナルセックスにおけるコンドーム常用率(毎回使った)を移転前後で見ると、梅田では受検経験者の48%、初回受検者の48%と同様であった。難波では受検経験者の53%、初回受検者の41%と受検経験者のほうがコンドーム常用率は高かった(図11)。

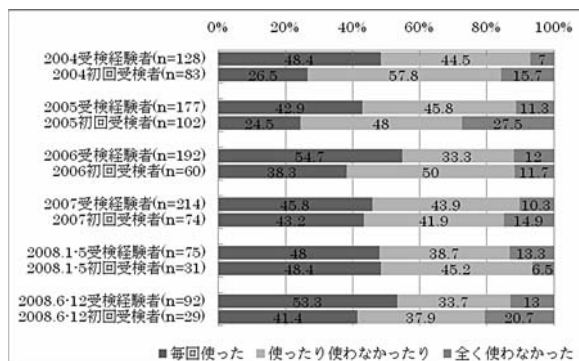


図11 受検経験別コンドーム使用(過去6カ月間のアナルセックス)

HIV 検査結果別に受検経験をみると、HIV

陽性結果だった人の67%、陰性結果だった人の73%は生涯受検経験があり、陽性結果だった人の受検経験率が年々高い傾向になっており、陰性結果だった人では2006年、2007年と同様の割合であった(図12)。なお、陽性結果だった人の20%、陰性結果だった人の48%は過去1年間の受検経験があり、陽性結果だった人では2007年(27%)よりも少ない割合だった(図13)。

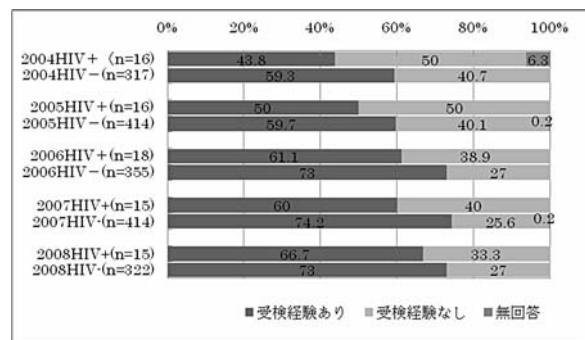


図12 HIV検査結果別の生涯受検経験

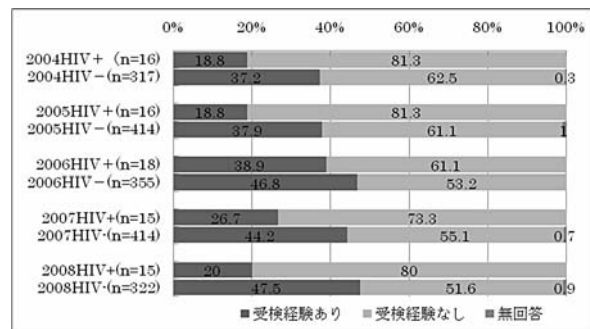


図13 HIV検査結果別の過去1年間受検経験

また、生涯受検経験別にみたHIV陽性割合は、初回受検者の5.4%、受検経験者の4.1%であった。例年初回受検者の陽性割合が受検経験者より若干高い傾向は変わらず、同様の割合で推移している。移転前後で見ると、梅田は初回受検者の2.1%、受検経験者の0.9%、難波は初回受検者の9.1%、受検経験者の6.6%であり、梅田は例年よりも低い割合で、難波は例年よりも高い割合であった(図14)。なお、過去1年受検経験別のHIV陽性割合は、過去1年間に受検していない人の6.7%、受検した人の1.9%であり、受検していない人の陽性割合は過去で最も高い割合であった。

移転前後でみると、梅田は過去1年間に受検していない人の陽性割合が過去で最も低く(2.2%)、難波は過去で最も高い割合(11.2%)であった(図15)。

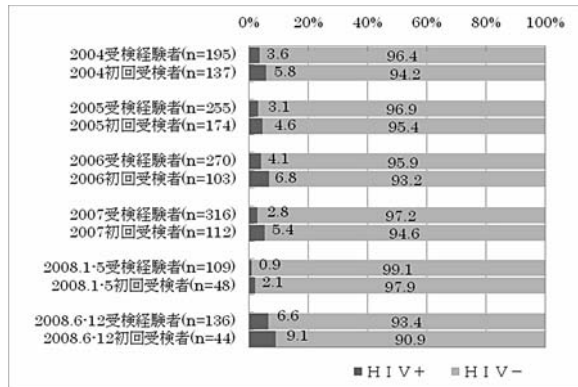


図14 生涯受検経験別の HIV 陽性割合

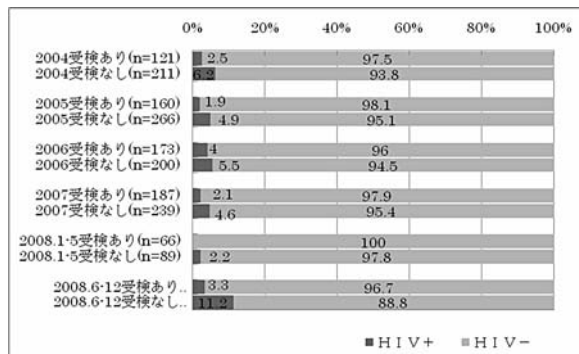


図15 過去1年間受検経験別の HIV 陽性割合

D. 考察

質問紙調査の協力者全体のうち MSM 受検者の実数および割合は 2007 年よりも減少したが、割合の変化は難波への移転後に見られた。MSM 推定 HIV 陽性率は 2007 年の 3.0%から 5.1%に上がっており、これは移転後の陽性率の高さによるものであった。

年齢分布は、梅田で実施している時期と難波に移転してからは 10 歳代がより少なく 40 歳代がより多いなど多少異なる傾向がみられた。また、以前から利用していた人が移転にかかわらず利用している傾向がある一方で、検査の情報源として移転後の利用者ではこれまでと比べて友人・パートナーが低い割合、インターネットが高い割合になっていた。

定期的に、また新パートナーができたこと

を受検動機として受検する人が増加傾向にあり、受検経験率も増加傾向にある。陽性とわかった人の生涯受検経験率も増加傾向にある。しかし一方で、陽性とわかった人の過去1年間の受検経験率は陰性とわかった人よりも低く、言葉をかえると、過去1年間に受検した人よりも受検していない人での HIV 陽性率が例年よりも高くなっている。さらに難波ではその傾向がより強い。

難波を利用した MSM 受検者の一部がこれまでの利用者と異なる層なのか、もしくは移転にかかわらず(移転にともなう要因、および時期的な他の要因もあるが)受検者の傾向が変わってきているのかの区別は困難であるが、移転前の例年の傾向と多少異なる傾向が見られた。引き続き 2009 年の傾向を見ていく必要があるが、大阪における受検機会による MSM 受検者への影響および MSM の予防啓発や検査普及活動などについての検討に役立て得るためのひとつの資料としたい。

E. 結語

MSM 受検者の動向を把握するため大阪・土曜日常設 HIV 検査事業において調査を実施した。MSM 受検者の陽性割合や受検・予防行動の一部が明らかになり、大阪における MSM を対象にした予防啓発活動が MSM の受検に関する行動に影響を及ぼしている可能性が示された。また梅田から難波への移転に伴う変化を検討することで、MSM への受検機会の提供の在り方について考えるためのひとつの資料としたい。

F. 発表論文等

(学会発表)

1) 岳中美江、榎本てる子、岡部正子、岡本学、土居加寿子、松浦基夫、山中京子、藤山佳秀、市川誠一：大阪・土曜日常設 HIV 検査事業における受検者の動向(2008)，第23回日本エイズ学会学術集会・総会，2009年，名古屋。

表1 大阪土曜日常設検査におけるMSM受検者に関する概要(年別)

	2004(n=333)		2005(n=430)		2006(n=373)		2007(n=429)		2008(n=337)		2008[1-5月](n=157)		2008[6-12月](n=180)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
年齢階級														
15-19歳	18	5.4	28	6.5	13	3.5	15	3.5	7	2.1	6	3.8	1	0.6
20-24歳	51	15.3	83	19.3	62	16.6	78	18.2	46	13.6	22	14.0	24	13.3
25-29歳	87	26.1	83	19.3	82	22.0	73	17.0	73	21.7	34	21.7	39	21.7
30-34歳	92	27.6	80	18.6	69	18.5	84	19.6	68	20.2	31	19.7	37	20.6
35-39歳	42	12.6	57	13.3	60	16.1	66	15.4	58	17.2	28	17.8	30	16.7
40-44歳	10	3.0	25	5.8	31	8.3	43	10.0	31	9.2	10	6.4	21	11.7
45-49歳	5	1.5	19	4.4	13	3.5	19	4.4	22	6.5	8	5.1	14	7.8
50-54歳	4	1.2	12	2.8	3	0.8	13	3.0	6	1.8	4	2.5	2	1.1
55-59歳	4	1.2	10	2.3	9	2.4	10	2.3	10	3.0	4	2.5	6	3.3
60歳以上	0	0.0	2	0.5	6	1.6	6	1.4	6	1.8	5	3.2	1	0.6
無回答	20	6.0	31	7.2	25	6.7	22	5.1	10	3.0	5	3.2	5	2.8
居住地														
大阪	216	64.9	281	65.3	254	68.1	300	69.9	228	67.7	110	70.1	118	65.6
兵庫	67	20.1	81	18.8	63	16.9	58	13.5	52	15.4	24	15.3	28	15.6
京都	18	5.4	25	5.8	27	7.2	32	7.5	25	7.4	13	8.3	12	6.7
奈良	15	4.5	13	3.0	8	2.1	14	3.3	8	2.4	3	1.9	5	2.8
滋賀	4	1.2	15	3.5	10	2.7	6	1.4	7	2.1	2	1.3	5	2.8
和歌山	2	0.6	2	0.5	2	0.5	1	0.2	6	1.8	1	0.6	5	2.8
その他	10	3.0	10	2.3	9	2.4	15	3.5	11	3.3	4	2.5	7	3.9
無回答	1	0.3	3	0.7	0	0.0	3	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0

・MSMは感染不安行為が同性間の性的接触と回答した男性

表2 大阪土曜日常設検査におけるMSM受検者に関する概要(年別)

	2004(n=333)		2005(n=430)		2006(n=373)		2007(n=429)		2008(n=337)		2008[1-5月](n=157)		2008[6-12月](n=180)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
感染不安行為経験場所														
日本国内	309	92.8	409	95.1	349	93.6	407	94.9	314	93.2	142	90.4	172	95.6
国外	2	0.6	3	0.7	3	0.8	2	0.5	7	2.1	5	3.2	2	1.1
国内と国外	21	6.3	18	4.2	19	5.1	18	4.2	15	4.5	10	6.4	5	2.8
わからない	1	0.3	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.3	2	0.5	1	0.3	0	0.0	1	0.6
感染不安行為からの期間														
90日未満(60日未満**)	129	38.7	231	53.7	206	55.2	259	60.4	134	39.8	76	48.4	58	32.2
1年以内(1年未満**)	165	49.5	160	37.2	141	37.8	146	34.0	178	52.8	73	46.5	105	58.3
1年以上前	33	9.9	34	7.9	22	5.9	17	4.0	19	5.6	7	4.5	12	6.7
無回答	6	1.8	5	1.2	4	1.1	7	1.6	6	1.8	1	0.6	5	2.8
土曜検査を知った情報源(複数回答)														
インターネット	175	52.6	235	54.7	198	53.1	224	52.2	175	51.9	70	44.6	105	58.3
友人・恋人	79	23.7	109	25.3	85	22.8	101	23.5	74	22.0	40	25.5	34	18.9
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	19	5.7	18	4.2	15	4.0	31	7.2	8	2.4	4	2.5	4	2.2
ポスター・パンフ・広報誌	52	15.6	73	17.0	62	16.6	67	15.6	41	12.2	21	13.4	20	11.1
保健所・行政	21	6.3	14	3.3	19	5.1	16	3.7	7	2.1	4	2.5	3	1.7
病院	2	0.7	3	0.7	4	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学校・職場	5	1.5	5	1.2	4	1.1	5	1.2	1	0.3	1	0.6	0	0.0
飲食店・飲み屋	9	2.7	15	3.5	8	2.1	5	1.2	2	0.6	0	0.0	2	1.1
以前利用した**									64	19.0	22	14.0	42	23.3
受検動機(複数回答)														
自分にも感染の可能性*	194	68.1	297	69.1	259	69.4	329	76.7	252	74.8	119	75.8	133	73.9
体調に変化あり感染の不安	56	16.8	70	16.3	47	12.6	55	12.8	33	9.8	12	7.6	21	11.7
情報に触れ自分のことも心配*	50	17.5	81	18.8	67	18.0	72	16.8	68	20.2	32	20.4	36	20.0
セックス相手の感染判明*	14	4.9	26	6.0	17	4.6	20	4.7	21	6.2	9	5.7	12	6.7
新しいパートナーができた	38	11.4	52	12.1	49	13.1	62	14.5	65	19.3	33	21	32	17.8
セックス相手と一緒に	30	9.0	40	9.3	28	7.5	40	9.3	29	8.6	17	10.8	12	6.7
性感染症にかかった*	15	5.3	20	4.7	7	1.9	12	2.8	12	3.6	5	3.2	7	3.9
ただ単に知りたい	47	14.1	51	11.9	55	14.7	42	9.8	48	14.2	22	14.0	26	14.4
定期的に受けている	46	13.8	74	17.2	75	20.1	89	20.7	71	21.1	28	17.8	43	23.9
過去のHIV検査受検経験														
これまで(生涯)	195	58.6	255	59.3	270	72.4	316	73.7	245	72.7	109	69.4	136	75.6
過去1年間	121	36.3	160	37.2	173	46.4	187	43.6	156	46.3	66	42.0	90	50.0
過去1年間の受検場所(複数回答)														
病院	15	12.4	21	13.1	20	11.6	24	12.8	19	12.2	9	13.6	10	11.1
保健所	44	36.4	38	23.8	32	18.5	36	19.3	22	14.1	10	15.2	12	13.3
大阪夜間検査	18	14.9	11	6.9	7	4.0	8	4.3	4	2.6	2	3.0	2	2.2
当土曜検査*	48	44.9	88	55.0	117	67.6	118	63.1	110	70.5	44	66.7	66	73.3
大阪日曜即日検査**									8	5.1	6	9.1	2	2.2
その他	3	2.5	14	8.8	8	4.6	16	8.6	8	5.1	1	1.5	7	7.8
HIV関連相談経験(複数回答)														
経験なし	242	72.7	330	76.7	268	71.8	317	73.9	240	71.2	114	72.6	126	70.0
電話相談した	12	3.6	11	2.6	7	1.9	15	3.5	8	2.4	4	2.5	4	2.2
保健所に相談した	8	2.4	8	1.9	6	1.6	7	1.6	10	3.0	3	1.9	7	3.9
検査時に相談した	75	22.5	80	18.6	94	25.2	94	21.9	79	23.4	36	22.9	43	23.9
自身のHIV感染の可能性*														
まったくないと思う	1	0.4	7	1.6	5	1.3	2	0.5	2	0.6	1	0.6	1	0.6
あまりないと思う	40	14.0	40	9.3	55	14.7	53	12.4	42	12.5	20	12.7	22	12.2
少し可能性があると思う	134	47.0	214	49.8	171	45.8	206	48.0	162	48.1	70	44.6	92	51.1
可能性があると思う	107	37.5	158	36.7	135	36.2	154	35.9	126	37.4	63	40.1	63	35.0
無回答	3	1.1	11	2.6	7	1.9	14	3.3	5	1.5	3	1.9	2	1.1

*MSMは感染不安行為が同性間の性的接触と回答した男性

**のついた項目:2004年については4月~12月の回答のみ(n=285)

***のついた項目:2008年のみ

表3 大阪土曜日常設検査におけるMSM受検者に関する概要(年別)
～過去6ヶ月間の性行動について

	2004(n=333)		2005(n=430)		2006(n=373)		2007(n=429)		2008(n=337)		2008[1-5月](n=157)		2008[6-12月](n=180)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
過去6ヶ月の性経験	ある													
	305	91.6	374	87.0	327	87.7	383	89.3	308	91.4	141	89.8	167	92.8
	(n=305)		(n=374)		(n=327)		(n=383)		(n=308)		(n=141)		(n=167)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
過去6ヶ月の性交相手(複数回答)														
恋人など決まった相手	169	55.4	202	54.0	163	49.8	196	45.7	181	58.8	79	56.0	102	61.1
知人・友人とその場限りで(顔見知りと1回のみ)	102	38.9	133	35.6	120	36.7	135	31.5	38	12.3	12	8.5	26	15.6
バー・クラブで知り合った相手	89	29.2	80	21.4	94	28.7	84	19.6	61	19.8	31	22.0	30	18.0
ネット出会い系サイトで知り合った相手	81	26.6	104	27.8	93	28.4	84	19.6	84	27.3	39	27.7	45	26.9
携帯出会い系サイトで知り合った相手	47	15.4	56	15.0	47	14.4	53	12.4	54	17.5	28	19.9	26	15.6
性的接触に対しあなたがお金を払った相手	23	7.5	28	7.5	21	6.4	23	5.4	29	9.4	16	11.3	13	7.8
性的接触に対しあなたがお金をもらった相手	13	5.0	24	6.4	10	3.1	21	4.9	3	1.0	2	1.4	1	0.6
その他	7	2.3	6	1.6	12	3.7	13	3.0	19	6.2	8	5.7	11	6.6
過去6ヶ月のコンドーム使用(オーラルセックス)	(n=262)													
毎回使った	12	5.2	27	8.1	29	9.9	22	6.4	27	9.5	8	6.3	19	12.2
使ったり使わなかったり	62	26.7	75	22.5	70	23.8	97	28.1	61	21.5	32	25.0	29	18.6
全く使わなかった	158	68.1	231	69.4	195	66.3	226	65.5	196	69.0	88	68.8	108	69.2
行為をしていない	13	—	9	—	17	—	16	—	15	—	8	—	7	—
無回答	17	—	32	—	16	—	22	—	9	—	5	—	4	—
過去6ヶ月のコンドーム使用(アナルセックス)*	(n=262)													
毎回使った	84	39.6	102	36.4	128	50.8	131	45.3	112	49.3	51	48.1	61	50.4
使ったり使わなかったり	106	50.0	130	46.4	94	37.3	125	43.3	85	37.4	43	40.6	42	34.7
全く使わなかった	22	10.4	48	17.1	30	11.9	33	11.4	30	13.2	12	11.3	18	14.9
行為をしていない	43	—	70	—	58	—	74	—	78	—	33	—	45	—
無回答	7	—	24	—	17	—	20	—	3	—	2	—	1	—
過去6ヶ月のコンドーム使用(膣性交)*	(n=262)													
毎回使った	26	50.0	31	40.3	34	51.5	24	35.3	26	38.8	12	44.4	14	46.7
使ったり使わなかったり	21	40.4	27	35.1	23	34.8	24	35.3	28	41.8	8	29.6	10	33.3
全く使わなかった	5	9.6	19	24.7	9	13.6	20	29.4	13	19.4	7	26.0	6	20.0
行為をしていない	137	—	189	—	163	—	207	—	209	—	97	—	112	—
無回答	73	—	108	—	98	—	108	—	42	—	17	—	25	—

・MSMは感染不安行為が同性間の性的接触と回答した男性

・コンドーム使用の%は、「行為をしていない」「無回答」を省いた値を母数とした

・*のついた項目:2004年については4月～12月の回答のみ